



PRIMO JAPAN
CSR REPORT
PRIMO RING PROJECT 2012

企業理念

プリモ おもい プリモ かたち
最高の夢を最高の幸に

Share The Moment

喜びの瞬間を、永遠の記憶に

人生に訪れる特別なできごとの数々。

その喜びを、ともに分かち合うことから私たちは始めたいと思います。

響きあう気持ちは、最高の幸せとなって。

やがて、永遠の思い出に変わっていく。それをいつも信じているから。

私たちは、プリモ・ジャパンです。

社長挨拶

はじめに、東日本大震災により被災された地域の皆様にご心からお見舞い申し上げます。
また、被災地の一日も早い復興がなされますように、我々が取り組めることを考え、引き続き実行して参ります。

1999年の創業以来、当社は「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」を経営理念として掲げ、ブライダルリングの販売を行って参りました。結婚するお二人の最高の瞬間の気持ちを指輪という形に変えて持ち続けて頂きたい、という想いが背景にあります。

2008年4月から始まった当社のCSR活動、「RING PROJECT(リングプロジェクト)」は今年で5年目を迎え、今後の活動骨子となるCSRの意義を定めました。「幸せのリングを『つなげる』『広げる』ことで、『あらゆるものに、愛され信頼される存在に』なることを目指し、「誠実なマネジメント」、「商品の信頼への取り組み」、「お客様のために」、「より良い職場環境を目指して」、「地域・環境への思いやり」、「社会貢献活動」の6つの項目です。この内容に沿って、メンバーが主体となってRING PROJECTを進めていく中で、昨年からは提携先やお取引先の皆様からも活動へのご協力を頂くことが出来るようになり、少しずつ笑顔と幸せの『RING(輪)』を広げることが出来ていると感じております。今後とも、継続することの大切さを実感しつつ、活動を進めて参ります。

そして、一生に一度のお買い物をされるお客様の最高に幸せな瞬間をサポートさせて頂くために、すべてのお客様の想いを裏切ることのないよう、結婚の瞬間にふさわしい品質のブライダルリングをこれからもお届けいたします。



代表取締役社長

澤野直樹

多くの人々の幸せを創りたいという想いから。

当社には「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸(かたち)に」という経営理念があります。

その経営理念に基づき、1人でも多くの人々の幸せを創りたいという想いから始まった活動、

それが当社のCSR活動『PRIMO RING PROJECT』です。

お客様、取引先、従業員、地域社会、株主など、当社に関わる全ての人たちの願いが一つの大きな輪(RING)となり、

幸せを分かち合う人々の笑顔のRINGを大きく広げて行きたいと考えております。



PRIMO RING PROJECT 沿革

2007年	10月	社会貢献活動の一環として、プロミスダイヤとレーザー刻印の収益の一部を寄付
2008年	4月	社内横断組織として、第1期プロジェクトチーム発足(事務局3名、メンバー4名)
	5月	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じてベトナムの幼稚園建設支援、竣工式参加
2009年	3月	第1回ペットボトル・使用済み切手回収
	10月	ピンクリボンキャンペーン実施、2009年CSR報告書製作、第2期プロジェクトチーム活動開始(事務局2名、メンバー8名)
2010年	8月	第1回ジョブプラクティス実施(児童養護施設で暮らす高校生向け)
	10月	公益財団法人プラン・ジャパンを通じてフィリピンの小学校建設支援、竣工式参加
2011年	5月	東日本大震災 第1回義援金寄付・ボランティア参加(福島県いわき市)
	12月	東日本大震災 復興支援ボランティア 岩手県気仙沼市赤石児童館にてクリスマスイベントを実施
2012年	2月	第4期プロジェクトチーム メンバー決定、活動開始(メンバー5名、事務局1名)
	3月	フィリピンの小学校建設支援後の継続支援完了(学習教材の支給・教員トレーニング)
	4月	障がい者への対応について講義実施、第6回ペットボトル・使用済み切手回収
		東日本大震災 第3回義援金寄付
	5月	茅ヶ崎ビーチクリーン実施
	6月	東日本大震災 復興支援ボランティア 宮城県仙台市にて写真洗浄活動に参加
	7月	公益財団法人プラン・ジャパンを通じてタイの小学校建設支援開始
	8月	第3回ジョブプラクティス実施(児童養護施設で暮らす中学生・高校生向け)
	10月	第7回ペットボトル・使用済み切手回収
	11月	東日本大震災 復興支援ボランティア 岩手県気仙沼市にてプレ・クリスマスイベントを実施

社内横断型『RING PROJECT チーム』について

RING PROJECT チームは、当社のCSR活動を積極的に推進していく事をミッションとし、全国から立候補したメンバーで構成されています。特に社会貢献活動においては活動起案から実行、社内啓発までの全てをメンバーが行います。第4期となる2012年は発足当初からのメンバーである播口を中心に、各自が多様なアイデアを持ち寄り、様々な活動に取り組むことが出来ました。また、今後の活動骨子となる「CSRの体系化」を行いました。

第3営業部 営業部長 播口恵美

毎年このプロジェクトに参加することで、ここでしか味わえない経験や出会える人、感動があります。今回は被災地に2度足を運び、クリスマスイベントの実施と写真の洗浄を行いました。自分ひとりではきっと行動に移すことが出来なかったかも知れませんが、少しでも誰かの役に立ちたいと思い実施出来たことに意味があると感じています。



また、今回私にとって一番の大きな収穫は“半休制度導入”です。プロジェクト発足時から毎年提案しながらも消えてしまっていた案件が人事部の手を借りて今回のメンバーと共に形にすることができ、プロジェクトの可能性をまた一つ広げることが出来ました。引き続き活動の幅を広げ、社内外に活動を広げていきたいです。

アイプリモ 町田店 店長 小澤美帆

メンバーの皆様をはじめ、沢山の方に支えていただきながら、楽しく活動をさせていただくことができました。日々店舗で「もっとこうだったらいいな。」とさりげなく考えるような小さなことを、実は多くのスタッフが同じように感じていたんだと知る場所であり、またそれをより良くする為にはどうしたらいいのかが皆で一生懸命考える場所で、実現させる場所でした。店舗から出てメンバーになってみなければ出来ない良い経験でした。



またビーチクリーンや、被災地での活動は今までやってみたいと思うだけだったことを実行できる良い機会となりました。活動では1人の人間として考えさせられるような刺激を沢山いただけたように思います。楽しくて本当に貴重な経験をさせていただきました。

アイプリモ 山形本店 店長 吉岡真由美

メンバーではなかった2011年11月に東日本大震災復興支援として行われた宮城県気仙沼市の児童館でのクリスマスイベントに、参加したことがきっかけで今回プロジェクトチームに参加しました。社会貢献や社内環境の向上など、普段の店舗では出来ないことに取り組むことで新しい発見が出来るのもこのプロジェクトの魅力です。店舗のスタッフ、上長の協力があってこそ参加できるプロジェクトなので、感謝の気持ちを忘れずに、今後もこの経験を活かして行きたいです。



アイプリモ 名古屋店 副店長 氏原真耶子

多くの方にこの素晴らしい活動を知ってもらいたいという思いで、プロジェクトチームに参加しました。プロジェクトの活動意義である「あらゆるものに、愛され信頼される存在に」なっていく為に、社会貢献活動だけではなく、様々な視点から活動を行う事ができ、とても充実した時間を過ごす事ができました。今後もよりたくさんの方に活動を知って頂き、笑顔のリングを広げていけるよう頑張っていきたいと思っています。

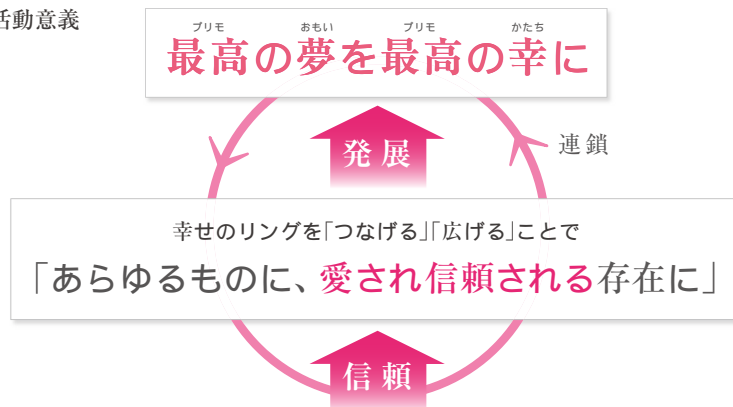


ラザールダイヤモンドブティック 銀座本店 新井ふみな

定例MTG、5週に一度のブログ更新など日常業務との両立は大変ですが、リングプロジェクトメンバーならではの経験が自分自身成長することが出来ました。会社の代表として仙台の写真洗浄や、銀座のクリーン活動に参加できたことを誇りに思います。この活動を通じてプライベートでも社会貢献に興味を持つようになりました。



PRIMO RING PROJECTの活動意義



6つの項目

誠実なマネジメント コンプライアンス リスクマネジメント	商品の信頼への取組み コンフリクトフリー JJA WFDB 加盟 ロシア産 アーガイル産	お客様のために おもてなし アフターケア	よりよい職場環境を目指して プリモカレッジ リーディング・トレーディング プリモクラッセ ダイバーシティ推進 子育て支援 キャリア登録制度	地域・環境への思いやり ペットボトルキャップ回収 使用済み切手回収 ごみ拾い活動 節電・クールビズ 照明 LED 化	社会貢献活動 ベトナム幼稚園 フィリピンアマガ小学校 ジョブプラクティス 東日本大震災支援 ピンクリボン運動
---	--	-----------------------------------	--	--	--

CSR活動の現在とこれからの事。

2008年に発足したPRIMO RING PROJECTは、来年で6年目を迎えます。そこで、今までの活動を見直し、さらに活動の輪を広げていくために、私たちに何ができるかを考えました。

CSR報告書の活用について

■ 播 口：提携先訪問時にCSR報告書を持参していると伺ったのですが、実際どのように活用していただいていますか？



■ 赤 堀：新規の企業様・パートナー企業様へご挨拶に伺う場合は、必ず持参しています。当社のブランド構成や企業としての取り組みが網羅されているので、説明の際に活用させてもらっています。

■ 吉 岡：ありがとうございます。先方の反応はいかがですか？



■ 赤 堀：どの企業様にも興味を持っていただけるのは、「従業員満足度向上のために、どのような取り組みを行っているか」という部分です。勤めている企業が社会に貢献していると感じることで、従業員の帰属意識が高まることは皆様感じておられるので、色々な情報を取り入れたいと考えていらっしゃるようです。その中でも特に興味深く聞いていただけるのは、海外支援についてですね。

CSRの報告書を開いてご紹介することで初めて、当社に興味をお持ちいただく方もいるという感覚もあります。企業を大きく捉えている役職者の方になればなるほど、そういった内容に興味を抱かれる方が多いです。

今までの活動の中で、他企業様とのコラボレーション実績はありますか？

■ 氏 原：私がCSR報告書をお持ちして当社の紹介にうかがった中で、ペットボトルキャップの回収にご協力くださっている企業様があります。当社の活動方針にご賛同いただき、社員の皆様のご家庭で集めていただいたキャップを持ち寄って、今でも定期的に届けてくださっています。「しっかりした会社ですね」とお褒めのお言葉もいただきました。

■ 赤 堀：それは素晴らしいですね。パートナー企業様がどのような社会貢献活動をしているか調べる機会がありますか？実は一緒に取り組める活動がまだまだあると思うんです。

■ 新 井：どうしても自社内の活動ばかりに考えがいつってしまうので、他社の活動を聞く機会はなかなか多くないです。



■ 赤 堀：先ほどお話にあがったペットボトルキャップの回収は、協力してくれた企業様に感謝状をお送りするなどつながりを感じられる何かがあれば、こちらからも声を掛けやすくなるので、活動を広げることが出来そうですね。

■ 氏 原：そういった活動が広がれば、地域の活性化にもつながって、より多くの方にご参加いただけますね。



■ 吉 岡：私の場合、ほとんどの企業様にプリモクラッセとジュエリーコーディネーターのバッジについて興味を持たれることが多いです。社員のやりがいを向上させる取り組みについての関心は高いです。



■ 赤堀：当社のプリモクラッセから話が広がって、パートナー企業様がブルーダイヤ入りのラベルピンを導入した事例がありました。成績優秀な社員様にカタチに残る還元をしたいというご相談を受け、当社でデザイン画を起こすところから制作までを一括で承り、導入していただきました。

■ 小澤：先方からも感謝のお声をいただいたので、とても記憶に残っています。



■ 播口：社内の従業員満足度向上の取り組みが社外に広がって、まさに大きな輪(RING)がつながっていきますね。

■ 赤堀：より視野を広げて他社の活動に目を向けてみると、一緒に取り組めることがたくさんありそうですね。CSRの活動をPRとして発信している企業もあるので、パートナー企業様訪問の際はそういった話題を深堀してみると話が広がるかもしれません。

し、社会貢献活動であれば、同じ業界内でもフラットに行うことが出来ます。そこから少しずつでも活動の輪が広がれば、ゆくゆくは大きなイベントを行うことが出来るようになるかもしれません。そうなれば、それだけ話題性も高まります。

■ 播口：昨年11月末に気仙沼の赤岩児童館でクリスマスイベントを行った際は、震災復興支援活動としてNHKの取材が入り、実際にテレビで放送されました。社名こそ出ませんが、見てくださったお客様もいらっしゃいました。

■ 赤堀：今後当社がアジア圏に進出していくことを踏まえて、RING PROJECTの活動もアジア圏に展開していけるとより広い輪(RING)を作ることが出来そうですね。

■ 氏原：台湾でもRING PROJECTを発足してもらえると、共通の活動で繋がる事が出来そうですね。来年は発足6年目を迎えるので、次のステップへ進むためにも、今後幅広く活動をしていきたいです。

CSR活動の輪を広げていくために



■ 氏原：CSRの活動自体に興味はあっても、自社だけで行うにはもう一歩踏み出せないという企業様には、こちらから働きかければ賛同してくださることも増えそうです。

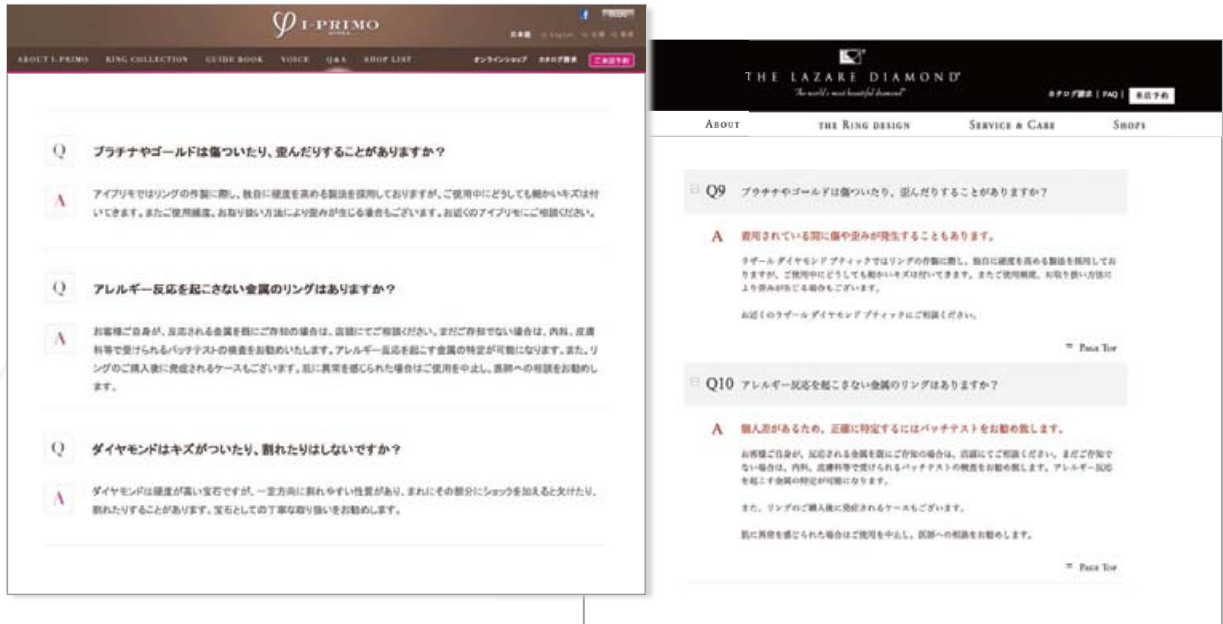
■ 赤堀：活動報告と今後のお誘いというスタンスでご案内できれば、より話題も広がります



営業本部 第1営業部 マネージャー 赤堀 直太(写真左)

誠実なマネジメント

お客様に安心して商品をお買い求めいただくために、正しい情報をきちんとした形でお伝えしたいという想いから、アイプリモ、ラザールダイヤモンドブティックそれぞれのブランドホームページに、ダイヤモンドや金属の取り扱いについての情報を掲載しています。



お客様のために

ご来店いただいたすべてのお客様に、快適な時間を過ごして頂くため、様々な取り組みを行っています。

障がいのある方へ

障がいのある方がご来店した際の心構えやご対応方法で注意が必要な内容について、全国の店長が集まる定例会議で講義を行いました。講義内容を実際の接客で活用することができたという事例も増えています。



小さなお子様へ

接客中にお出しするお茶以外に、お子様用にお選びいただける果物ジュースを全店舗に導入しました。



イメージ

商品の信頼への取り組み

コンフリクトフリー

アイプリモでは「コンフリクトフリー」のダイヤモンドのみを使用しています。コンフリクトダイヤモンド（＝紛争ダイヤモンド）の混入を防ぐために、ダイヤモンドの流通経路においてキンバリー・プロセス※1とシステム・オブ・ワランティー※2を厳守し、国際的な規定に基づいて証明されたコンフリクトフリーダイヤモンド（＝非紛争ダイヤモンド）のみを取り扱っております。世界平和への願いをこめたこの取り組みが、アイプリモのダイヤモンドをますます輝かせています。

※1 キンバリー・プロセス：キンバリー・プロセス参加国間（日本を含む68カ国）で輸出入されたダイヤモンド原石は、不正に開封できない容器で運ばれお互いの政府が承認したキンバリー・プロセス証明書が添えられて、紛争と関係ないことが証明されています。

※2 システム・オブ・ワランティー：ダイヤモンドやダイヤモンド宝飾店の全ての取引において、紛争とは関係ない地域から採掘されたものであると宣誓文が記載されたインボイス（納品書）が添付され、保証されていなければなりません。

コンフリクトダイヤモンドとは？

アイプリモが排除しているコンフリクトダイヤモンド（＝紛争ダイヤモンド）は、「ブラッドダイヤモンド」とも言われ、同名の映画が作られるほど国際的な問題となっています。中央・西部アフリカを中心に、戦争で疲弊している地域で違法に採掘・取引されており、新たな紛争を招く資金源になっています。



ロシア産ダイヤモンド

ロシア産のダイヤモンドは、透明感のある冴えた輝きで、世界のジュエリーブランドから注目を集めています。心を魅了する美しさの理由は、高温高压下で結晶化し、安定した環境に育まれたその生い立ち。アイプリモではロシア国営ダイヤモンド研磨会社「クリスタル社」から供給を受け、アイプリモだけの証明特典をつけてお届けしています。

- ・信頼の証、「クリスタル社」発行の産地証明書付き。
- ・ガードル部分にシリアルナンバーと「クリスタル社」マークを刻印しています。



アーガイル産ピンクメレダイヤモンド

希少なピンクダイヤモンドのほぼ唯一の産出地は、オーストラリアのアーガイル鉱山です。アイプリモは2008年4月に世界に先駆けて「正規アーガイル産ピンクメレダイヤモンド販売店」としてアーガイル社から認められました。

- ・アイプリモのピンクダイヤモンドは、全て正規のアーガイル産です。
- ・輝きと色みが最も美しいアーガイル産のピンクダイヤモンドを、厳選してご提供しています。



WFDB『世界ダイヤモンド取引所連盟』加盟

2008年7月25日（金）日本を代表するダイヤモンド取扱業者で構成された機関である東京ダイヤモンドエクスチェンジ（Tokyo Diamond Exchange 以下略称：TDE）に加盟。このTDEを介して2008年10月1日（水）『世界ダイヤモンド取引所連盟』（World Federation of Diamond Bourses 以下略称：WFDB）の正式メンバーに認定されました。WFDBはダイヤモンド取引に関する世界の情報共有と問題解決を目的とした国際組織であり、今回の認定によって、日本のジュエリー業界のみならず世界20カ国の1万を超えるダイヤモンド取扱業者へ、広くその信頼と責任を掲げて

参ります。当社がWFDBに認定された経緯には、コンフリクトフリーのダイヤモンドのみを販売する徹底した取り組みが高く評価された点にありました。今後も引き続きコンフリクトフリー活動を世界へ働きかけると共に、国内外のダイヤモンドマーケットにおける最新情報を素早く入手し、ダイヤモンドに関する確かな情報をお客さまへ提供して参ります。



より良い職場をめざして

ワークライフバランス

2012年は18名が産前産後休暇を取得し、職場復帰を果たしています。
また、育児や子の看護、介護による休業制度を整備し、社員の仕事と生活との調和に向けて取り組んでいます。



アイプリモ新宿店 須永美和子

2010年8月から産休に入り、2010年9月に出産、保育園に入れず1年半まで育休を延長し、2012年4月に復帰しました。

私は2009年にリングプロジェクトメンバーとして活動させて頂き、会社が掲げる社会貢献活動の1つであるワークライフバランスの重要性を知りました。実際に子育てしながら働ける職場環境の良さ

を肌で感じる事が出来、会社や家族などの多くの人に支えられている事に感謝すると共に、たくさんの社員の方にこの制度を利用して欲しいと思いました。仕事に家事に育児にと忙しい毎日ですがとても充実した日々を送っています。また機会があればリングプロジェクトメンバーに立候補したいです。

半休制度導入

「全社員がより働きやすい職場環境を整えたい」という思いから、半休制度導入の提案を行いました。
人事部の協力を仰いで制度構築を行い、数店舗で2ヶ月間のシミュレーションを経た上で、2012年10月より全店導入となりました。

半休制度概要

経緯：社員が公休日にお客様の対応をするため、数時間出勤しているケースがあった。

目的：労働環境の改善

詳細：1ヶ月に1回、公休日を半日単位で出勤日と振替できる制度

シミュレーション実施結果

制度利用者の声

- ・オンとオフのメリハリをつけることができ、プライベートにも少しゆとりが持てるようになった。
- ・提携先の都合にシフトを合わせることが出来たので、アポイントを取るときに安心感があった。
- ・半日出勤のとき、提携先の営業に集中して勤務できたので、良かった。

プリモクラッセ

入社時に18金の社内ブローチを付与致します。最初はプレーンなブローチですが、販売実績・取得資格などの一定基準をクリアするごとにメレダイヤ（小粒のダイヤモンド）が1石ずつ、最大10石まで増えていきます。お客様から頂いたありがとうの証であり、社員個人の誇り・勲章でもあります。



地域・環境への思いやり

ペットボトルキャップ回収（'09～）

当社のペットボトルキャップ回収活動は全国の社員が本社や店舗で出たペットボトルゴミ、または自宅ゴミからキャップを持ち寄って集めています。当初は社内でのみの活動でしたが、徐々に店舗がある商店街の方々や、取引先企業の方まで、活動に賛同し、ご協力下さっています。

2011年にはNPO団体Reライフスタイルより感謝状をいただき、回収したキャップの総量は397.4kg（ポリオワクチン298人分）となりました。



NPO法人 Reライフスタイルを通じたペットボトルキャップ収集事業について

当社はNPO法人Reライフスタイルを通じてペットボトルキャップ回収活動を進めています。NPO法人Reライフスタイルでは、キャップをリサイクル業者に買い取って頂き、キャップ本体はマテリアル（材料）にリサイクルされ、その対価を寄付金として、貧困国の子供たちにワクチンを贈っています。

使用済み切手回収（'09～）

当社の使用済み切手回収活動は、全国の社員が本社や店舗への郵送物から消印つきの切手を切り取り持ち寄って集めています。

回収した切手は公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）を通して換金し、アジア・アフリカを中心に、発展途上国へ医療従事者を送ることに役立てて頂いています。



茅ヶ崎ビーチクリーン実施（'12～）

5月23日、株式会社リクルート ゼクシィ CSR推進グループと合同で、茅ヶ崎市漁港西側海岸にてビーチクリーンを実施しました。結婚情報誌ゼクシィと湘南エリアのウエディング会場が協力して実施している「湘南Loco Wedding with ゼクシィ」というプロジェクトから、茅ヶ崎迎賓館様と葉山ゲストハウスC33様にもご参加いただいた合同イベントとなり、およそ20名で海岸清掃を行いました。



社会貢献活動

東日本大震災への対応('11～)

震災直後より、代表取締役を本部長とした震災対策本部を設置し、被災地の1日も早い復興に向けて以下の対応を致しました。

日本赤十字社への義援金寄付

■ 第1回 義援金	寄付日：2011年4月28日 金額：2,447,881円	アイプリモ全店、ラザールダイヤモンド プティック全店で2011年3月19日から3月31日までの間にご成約頂いたお客様1組につき1,000円を義援金として寄付
■ 第2回 義援金	寄付日：2011年9月30日 金額：1,225,300円	2011年4月1日から8月31日までの間に当社の運営するアイプリモ全店でプロミスダイヤモンドをご注文及びラザールダイヤモンド プティック全店でガードル刻印をご注文頂いたお客様1組につき、100円を義援金として寄付
■ 第3回 義援金	寄付日：2012年5月1日 金額：78,102円	当社社員より有志で集めた募金を義援金として寄付



プロミスダイヤモンド



レーザー刻印

ボランティア活動実施

宮城県気仙沼市赤岩児童館にて
プレクリスマスイベントを行い、当日の様子が
NHK 総合ニュース7にて放送されました。

実施日：2011年11月30日

場 所：宮城県気仙沼市赤岩児童館

参加者：近隣仮設住宅にお住まいの親子 85名
赤岩児童館の皆様 4名
RING PROJECTメンバー、
アイプリモ山形店社員、事務局 7名

内 容：クリスマスツリーの飾りつけ、
ミニリース作り、プレゼント贈呈



仙台市にて震災復興団体おもいでかえる様の
写真洗浄ボランティアに参加しました。

実施日：2012年6月20日

場 所：仙台市若林区荒井矢取東62番 剣道場

参加者：RING PROJECTメンバー、
南東北グループ社員、事務局 計8名

内 容：瓦礫から見つかったアルバムの解体、
アルバムから写真を取り外す作業



ジョブプラクティス（'10～）

2012年8月29日、NPO法人ブリッジフォースマイルを通じて児童養護施設で生活をする学生へ向けた職業体験プログラム「ジョブプラクティス」を実施しました。3回目の開催となる今年は中学生・高校生あわせて5名にご参加をいただき、実際の店舗で接客体験を受けて頂きました。

ジョブプラクティスとは、進路選択において大切な中学生・高校生の時期に、働く社会人の話を直接聞き、実際の仕事を体験する職業体験プログラムです。

当日は一緒にランチを食べながらコミュニケーションを深めた後、当社が運営するアイプリモ銀座本店へ移動し、ブライダルリングの販売を、お客様・販売員のそれぞれの立場になって体験頂きました。最初は緊張していたみなさんも、本物のダイヤモンドに目を輝かせており、緊張がほぐれるにつれてロールプレイングも楽しみながら実施することができました。販売体験終了後は、質疑応答を行い、「仕事に気をつけていることは？」「仕事のやりがいは？」「この会社を選んだ理由・決め手は？」など学生から積極的に質問をいただき、就業観・職業観をお伝えすることが出来ました。



NPO法人ブリッジフォースマイル 菅原亜弥様よりいただいたお礼のお手紙

今年で3回目となりました、プリモ・ジャパン様での「ジョブプラクティス」。プリモ・ジャパン様の店舗で職業体験がスタートいたしました。ピンと伸びた背筋、スマートな身のこなし、笑顔の眩しい社員の方から、「一流のおもてなし」を受けました。参加者からは「ジュエリーもとても素晴らしかったけれど、接客を受けて、この店員さんのおすすめなら、ぜひ買いたいという気持ちになりました」との感想が出ていました。続いては、参加者が店員役になりきる「ロールプレイング」です。ひとりひとりが、「どうしたらお客様に喜んでいただけるか」を意識し、初めとは思えないくらい、落ち着いた立ち居振る舞いをしていただくこと、一生懸命に接客をしていたことが印象深かったです。

また、社員のみなさまへの質問コーナーでは、「どうしたら接客の仕事につけますか」「販売士の資格を生かすには」など、接客業での就職を真剣に考える参加者から、次々と具体的な質問が飛び出しました。社員のみなさまからは1つ1つの質問に、丁寧にわかりやすくご回答いただき、参加者には「明日から取り組むべきこと」を、貴重なお土産として持ち帰ることができたことと思います。今回も、社員のみなさまの熱意あふれるお声かけをいただいたり、一緒に職業体験をさせていただくことで、参加者の「働くことへの意欲」や、自分にもできるかもしれないという「自信」を育むことができた、たいへん貴重な機会となりました。皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ピンクリボン運動（'08～）

女性社員が多い会社だからこそ、近年の乳がん発症率上昇は避けて通れない問題であると認識しています。

今年には女性のお客様に向けての活動として、接客中にお出ししているキャンディについて、ガン細胞の活動を抑制するといわれているアントシアニンを含んだブルーベリーキャンディを導入いたしました。また、当社オリジナルのピンクリボンロゴピンバッジを着用し、啓蒙活動に取り組んでおります。

ピンクリボン運動とは？

アメリカの乳がんで亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇を繰り返さないように」との願いを込めて作ったリボンからスタートした乳がんに関する啓蒙運動です。



フィリピン アマガ小学校校舎建設支援 継続支援完了('10～'12)

2010年に公益財団法人プラン・ジャパンを通じて、校舎建設支援をしたフィリピン アマガ小学校について、2012年には継続支援も完了しました。

プロジェクト概要

対象エリア：フィリピン国サザンレイテ州リロアン町アマガ村
児童数：75名（幼稚園生～小学校6年生）
支援内容：男女別のトイレを備えた2教室からなる校舎1棟を建設
机といすなどの教室備品や教材を支給
教師トレーニングの実施
完了：2010年10月

継続支援内容

- ・小学生への学習教材の支給
- ・幼稚園へのワークブックと知育玩具の支給
- ・幼稚園児と小学生用のCD教材の支給
- ・教師への教材の活用に関するトレーニング実施

完了：2012年3月末



*写真提供：プラン・ジャパン

タイ バン・ライ・ファーン校校舎建設支援開始('12～)

2008年のベトナム幼稚園建設支援・2010年のフィリピン小学校建設支援に続き、2012年7月から公益財団法人プラン・ジャパンを通じてタイでの学校建設支援を開始しました。2013年6月の完成を予定しています。

プロジェクト概要

対象エリア：タイ国チェンマイ県ファーン郡メーカー区バン・デン・マイ村
世帯数：105世帯
児童数：100名（保育園生～小学校6年生）
支援内容：校舎1棟（4教室）と食堂棟1棟の建設
教室備品の支給（机・椅子80セット、教卓・椅子4セット、
ホワイトボード4台）
学校の周囲の塀の設置
完了予定：2013年6月

プロジェクトの背景

タイのバン・デン・マイ村のバン・ライ・ファーン学校には、保育園から小学校6年生までの村の子どもたち100人が通っていますが、学校には教室が2つしかありません。施設は老朽化している上に教室数、教室備品や教材も不足しているため、村の子どもたちに適切な教育を提供できない状況にあります。また、学校には食堂がないため、子どもたちは教室の外に座って昼食をとっています。建物構造の老朽化が進み安全性の確保が難しくなっているため、子どもたちは、勉強や食事、昼寝などの様々な活動を限られた狭いスペースで済ませなくてはなりません。特に、児童数が最多の小学校1年生の子どもたちが使用できる教室がないため、1年生の児童たちは、校舎に隣接して設置した仮のスペースで授業を受けています。



*写真提供：プラン・ジャパン

《ブランド概要》

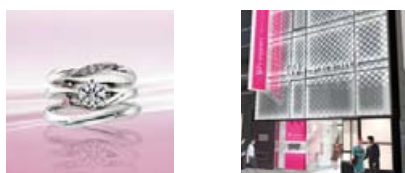
ブライダルカップルに向けた、ブライダルダイヤモンドリング（婚約・結婚指輪）の専門店「アイプリモ」と高級ダイヤモンド専門店「ラザール ダイヤモンド ブティック」の2ブランドを運営しています。

アイプリモ



日本最大規模の店舗数を誇るブライダルリング専門店「アイプリモ」。『セミオーダースタイル』を主な販売方法とし、日本全国で58店舗、台湾で9店舗、香港で1店舗を展開しています。

専門店ならではの多彩なデザインバリエーションから、お客様の婚約指輪・結婚指輪をお選び頂いております。洗練されたリングデザイン、独自の仕入れルートにより実現した適性プライス、更にアフターケアも充実させ、総合力で魅力のある製品を提供しています。

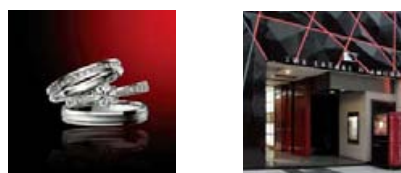


ラザール ダイヤモンド ブティック



THE LAZARE DIAMOND®

ニューヨークのダイヤモンドカッターズ・ブランド「ラザールダイヤモンド」と販売店契約を結び「ラザールダイヤモンド ブティック」を大都市を中心に10店舗展開しています。「ラザールダイヤモンド」とはダイヤモンドの歴史において「カッティングの魔術師」「Mr.ダイヤモンド」とも呼ばれた、ラザール・キャプラン創設の名門ブランド。その輝きは“世界で最も美しいダイヤモンド”と称されています。ラグジュアリーブランドとして婚約指輪・結婚指輪の他にファッションアイテムもご紹介致します。

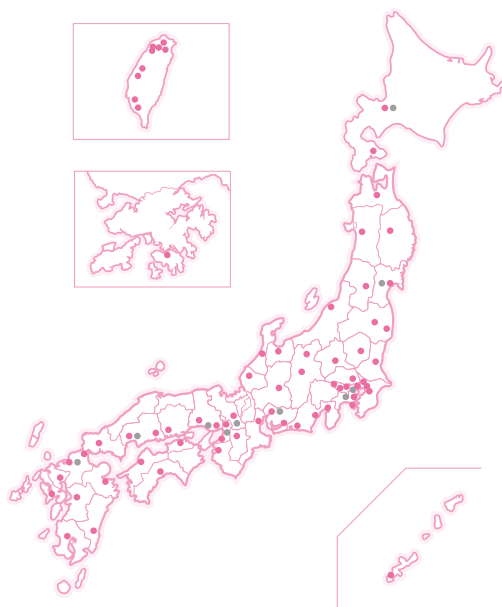


アイプリモ

【北海道】	横浜元町本店	【東海】	【中国】	宮崎本店
札幌本店	横浜ベイクォーター店	名古屋本店	広島本店	鹿児島本店
函館店	大宮本店	豊橋店	福山店	【沖縄】
【東北】	千葉本店	岐阜本店	岡山本店	沖縄本店
仙台本店	津田沼店	四日市スターアイランド店	山口本店	【台湾】
青森本店	柏店	静岡本店	【四国】	台北忠孝旗艦店
秋田アルス店	宇都宮本店	浜松店	高松本店	台北中山店
盛岡大通本店	高崎本店	沼津店	松山本店	新光三越信義新天地A8館店
山形本店	水戸本店	【関西】	高知本店	新光三越新竹中華店
郡山モルティ店	【甲信越・北陸】	大阪本店	【九州】	SOGO新竹Big City店
いわき店	新潟本店	梅田店	福岡本店	台中三民店
【関東】	長野本店	神戸本店	小倉店	新光三越台中中港店
銀座本店	松本バルコ店	姫路店	佐賀本店	高雄漢神巨蛋店
新宿店	富山本店	京都本店	長崎本店	高雄漢神本館店
立川店	金沢本店	奈良本店	大分本店	【香港】
町田店	福井本店	和歌山本店	熊本本店	銅鑼灣旗艦店

ラザール ダイヤモンド ブティック

札幌本店	銀座本店	名古屋本店	大阪本店	広島本店
仙台本店	横浜元町本店	京都本店	神戸本店	福岡本店



《会社概要》

商 号：プリモ・ジャパン株式会社
 事業内容：ブライダルジュエリーの企画・販売
 創 立：1999年4月15日
 代 表 者：澤野 直樹
 資 本 金：337,015万円（2012年9月末現在）

従業員数：495名（2012年9月末現在 ※正社員のみ）
 本 社：東京都中央区銀座三丁目15番10号 菱進銀座イーストミラービル6F
 子 会 社：Primo Israel Diamond Ltd.
 璞琳夢鑽石股份有限公司
 Primo Diamond Hong Kong Ltd.

本レポートの表紙には“PRIMO RING PROJECT”の
シンボルパターンがデザインされています。

結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから
伝わる“ダブルウェディングリング”をモチーフとし、
“アイプリモ”と“ラザールダイヤモンド ブティック”の
それぞれのテーマカラーを併せ持ったシンボルです。
「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、プロ
ジェクトに込めた想いを表現しています。

 PRIMÓ JAPAN

<http://www.primojapan.co.jp>

